

議員研修報告書

議員研修における調査結果について、下記の通り報告いたします。

平成29年2月28日

光市議会議長 中村賢道様

光市議会会派『新風会』

代表 河村龍男

議員 岸本隆雄

記

1. 研修年月日 平成29年1月11日～1月13日
2. 場 所 愛知県蒲郡市、常滑市、岡山県総社市
3. 調査結果 別紙のとおり

光市議会「新風会」行政視察報告

岸本 隆雄

河村 龍男

「蒲郡市公共施設マネジメント基本方針に係る取り組みについて」

まず、蒲郡市を選んだ理由であるが、蒲郡市が保有する施設は、モーターボート競争会計から繰入金（約40億円）と潤沢だった昭和50年までに建築されたものが多く、近い将来、一定期間に大規模改修や建て替えが集中することが想定され、多額の費用が必要となることが見込まれる自治体である。3年かけて、将来の公共施設のあるべき姿を提言したという情報を入手したため視察先に決定いたしました。

研修内容は、情報通りすばらしい公共施設の在り方を提言していました。

- ① 財政状況や社会情勢の変化を踏まえた、「身の丈に合った」公共施設。
- ② まちの魅力を高めるための公共施設。
- ③ 公共施設マネジメントの推進方策。

この3つの観点から、具体的な取り組みを提言しており、本市においても大変参考になるものとなりました。

「常滑市立病院視察報告について」

常滑市の人口は、58,500人、古くから陶器の産地として知られています。市立病院は、昭和34年に建築され、築56年目でした。古くなったため、建て替えるか、それとも廃院にするか意見は分かれました。

前市長の「税金を使うからには市民の声を聴くべし」という提案から、市民100人会議を発足させました。そして、第1回の100人会議において、市民からは「汚い」「暗い」「待ち時間が長すぎる」「職員の態度が悪い」「赤字病院に新病院建設の必要なし」という意見が出ました。病院側の思いは、2次救急病院として、24時間、365日断らない方針のもと頑張ってきたにもかかわらず、散々な会議だったそうです。

月に一度、会議を開いているうちに、双方のコミュニケーションが図れて行き、お互いを理解し、市民は「病院職員は頑張ってくれている」、「病院は市民の声を直接聞いた」と、5回にわたる100人会議を終えても、「今後も市民の声を聴く場を設けてほしい」と要望が生まれ、のちに100人会議の精神が140人以上の病院ボランティアに引き継がれていったそうです。

市民の声は決まったが、問題は財源です。病院の累積した借金を3年間でゼロにしなければ、新しい借り入れはできない。そこで市は、一般職員の給料を5年間15%カットという決断をしたそうです。幸いに医師の確保も成功し、平成27年4月4日に竣工式を迎え、式が終わりにさしかかった時、婦長が泣き出し、それにつられて医療スタッフ全員泣いたそうです。5年間の苦労があつての涙だったと思います。

今回の常滑市立病院視察で思うことは、病院は誰のために、何のためにあるのか十分に認識できました。市民の意見を聞き、病院スタッフは市民のため、新しい病院のため、行政職員も病院のため頑張った。議員も100人会議で意見を聞き、すべての人がひとつになり、成し遂げたまさしくドラマであると感じました。きっと、素晴らしい病院であり続けるでしょう。

然りながら、良かった点は救急車搬入が2,400回(年間)を超え、救急患者の受け入れは12,000件を超える市民にとっては欠くことのできない病院となったこと。

悪い点は、交付税があるということで、一般会計から32,000万円の繰り入れを当然のように受け入れること。次の段階へ行くためには、高度医療、不採算医療とは何かを求め、さらなる高見へ行く努力が必要と思いました。

「総社市新生活交通「雪舟くん」の取り組みについて(生活密着型のデマンド交通)」

総社市の人口約6万8千人、高齢化率27.4%、面積212km²(光市の2倍以上)山地部が四分之三の街です。

公共交通「雪舟くん」導入までの経緯は、平成17年バス路線の維持からスタートした。

平成19年、市内の循環バスのルート変更、停留所の移設、高齢者のバス・タクシー料金助成事業を実施する。平成21年、コミュニティバス「こまわりくん」の導入。平成22年、市長がデマンド交通導入を表明、平成23年「雪舟くん」運行開始。市内全域をカバーすることができるうえ、玄関まで送迎してくれることも魅力の一つである。料金も一律で300円と手ごろな価格に設定がしてあり、費用は年間6,500万円に、車両購入費(6年で買い替え4,400万円)と予約を受けるオペレーター6名分の人件費の総額で、1億円を超えるという。

問題点として、予約時間に行ってもお客さんが来ていなかったりすることもあり、スケジュールに支障が出る場合もあるそうです。1日の利用者数は、直近5年間で230人程度で推移しているとのこと。アンケート調査では、「便利になった」と答えた人が75%に達しており、光市も、これから先、デマンド交通を考えなければならない時期に来ていると思います。非常に魅力あるシステムであると感じました。